



Sapporo Gakuin University

学園広報

2002. 2. 20 No.81

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111
http://www.sgu.ac.jp

札幌圏 四大学・二短大 単位互換制度スタート

本学は、来年度から近隣の三大学(北星学園大学・酪農学園大学・北海道道庁井学園大学)・二短大(酪農学園大学短期大学部・北海道道庁井学園短期大学部)との単位互換制度をスタートさせることになり、昨年十一月三十日に各大学・短大の学長による調印式を行い、狩野陽学長が出席して「札幌圏大学・短期大学間における単位互換に関する協定書」に調印しました。四大学・二短大は、いずれも国道十二号線沿いで距離的に近く、交通の便が良いことから、一昨年から単位互換制度の導入に向けて話し合いを進めてきました。

大通キャンパス



大通公園から見た新キャンパス

本学はこの度、札幌市中央区大通西六丁目、大学と社会との連携を深めるための拠点となる施設を設けることになりました。この施設は、地上六階建てで大通公園の南側に面し、周囲の環境もよく地下鉄大通駅の出入口「昭和ビル」から一分弱と、交通の利便性が高い場所にあります。現在、内部の改装工事を行っておりますが、これが完了する五月には「札幌学院大学社会連携センター(通称 大通キャンパス)」としてオープンする予定です。

この社会連携センターは、現アクティブセンターの活動を発展・充実させるもので、従来区市民を対象とした公開講座等に加え、新たにキャリア開発事業、教育推進事業、研究推進事業を積極的に展開し、大学と地域社会との連携をより一層強めることを大きな目的としています。

このうち、キャリア開発事業では、企業からの委託研究あるいはマネジメントスクールの開催など社会人を対象としたキャリアアップ講座の充実を目指しています。また、研究推進事業では既に活動を開始している電子ビジネス研究センターに加え、NPO活動の支援、まちづくりに関する自治体との共同研究等地域との連携を重視した施策を多方面から展開していきます。更に教育推進事業では、演習室の設置等大学院サテライト教室としての機能を充実させ、テレビ電話システムやパソコンを利用したオンデマンドによる講義等遠隔教育の取組みに対しても積極的な支援を行い、社会人の就業拡大に向けた環境の整備・充実を図っていきます。

- 内部の概要(予定)
- 一階 玄関、車庫
 - 二階 中ラウンジ①、事務室①、パソコン教室①
 - 三階 会議室①
 - 四階 会議室兼講師控え室①、教室②
 - 五階 新聞・雑誌コーナー①、小ラウンジ①、演習室③

札幌中心部に本格拠点 5月「社会連携センター」始動

市民との交流等幅広いネットワークづくりが必要不可欠であり、北海道の中核都市札幌の中心地に開設する本社会連携センターはその役割を十分に担い、本学の社会的評価の向上に大きな役割を果たすものと確信しております。関係各位のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

Green Campus



協定書に調印する狩野陽学長(左端)

単位互換科目は四百科目 本学は百五十科目を提供

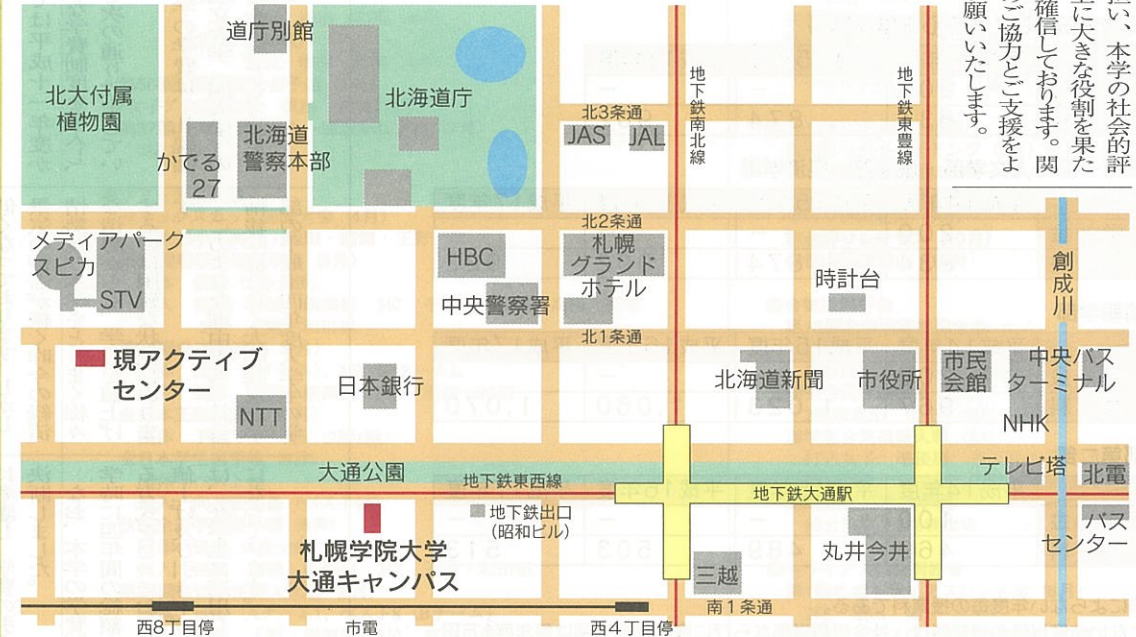
各大学は、それぞれの学部・学科の特色ある科目を単位互換科目として提供することとし、来年度は全体で約四百科目が単位互換科目に登録される予定です。本学は、全学共通科目と各学部の専門科目を合わせて約百五十科目を提供します。

図書館なども利用可能

また、授業料は原則として無料とし、各大学の図書館などの施設を利用することも可能です。各大学間で出願手続き等について調整を図り、休講情報などを携帯電話のインターネット接続サービスで提供することも検討しています。この制度の導入により、幅広い関心と興味に応じた履修機会が大幅に広がることとなり、各大学が提供する単位互換科目を自分の専攻を深めるため、あるいは自分の大学に無い分野の科目を学ぶために多くの学生が利用することが期待されます。

機会が大幅に広がることとなり、各大学が提供する単位互換科目を自分の専攻を深めるため、あるいは自分の大学に無い分野の科目を学ぶために多くの学生が利用することが期待されます。

全国的には、京都(京都大学を含む四十一大学)、横浜(横浜市内所在の国公立十大学)、首都圏西部(神奈川県所在の二十八大学・短大、東京・早稲田大学を含む五短大)、千葉(千葉県所在の私立二十四大学・十三短大)、東北(東北大学を含む十六短大)などでも同様の単位互換制度を導入しており、来年度は九州地域などでもスタートすることになっていきます。このように各地域の大学が連携する単位互換制度は年々広がる傾向をみせています。



地域の大学連携、全国的に拡大傾向

全国的には、京都(京都大学を含む四十一大学)、横浜(横浜市内所在の国公立十大学)、首都圏西部(神奈川県所在の二十八大学・短大、東京・早稲田大学を含む五短大)、千葉(千葉県所在の私立二十四大学・十三短大)、東北(東北大学を含む十六短大)などでも同様の単位互換制度を導入しており、来年度は九州地域などでもスタートすることになっていきます。このように各地域の大学が連携する単位互換制度は年々広がる傾向をみせています。

2002年就職戦線

厳しい環境に真つ向から勝負

二十一世紀の幕開けは、夢と希望に胸膨らませながら始まったといえるが、一月には行政改革で省庁統合、四月には金融の自由化に伴い大規模な金融業界の統廃合が行われた。失業率五・二%と史上最悪の状況の中で、なんと就職戦線も前年度の景況感に引き続いて、大卒採用の拡大傾向が求人件数にも表れた。

「同時多発テロ」で就職戦線に陰り

安堵しながら作業を進めていた矢先、九月にアメリカで起きた同時多発テロ事件はアファン攻撃へと駆り立て、単にアメリカだけに終わらず国際的な問題に波及し、未だ解決の糸口が見えない。

この事件以降、就職環境の牽引役であったIT産業に陰りが出て、多くの産業

業界は今までのような日本型終身雇用体制や年功序列といった採用から、実力・能力主義という即戦力を求める雇用体制に移行している。即ち企業人としての実力・能力を発揮できる人材を強く求めている。「厳選採用」が主流をなしていると言わざるを得ない。

このような状況下にある中で、大学の就職指導も今まで通りに三年生からの指導より、二年生からの指導を中心

に、特に大学生活を基本に将来の職業選択に結びつけるような指導が重要になってきている。取得科目、資格、学生生活での様々な経験(クラブ・サークル活動、留学、ボランティア活動、アルバイト等)また、インターンシップによる企業での実践など、多くの経験を積み重ねることによって社会

を見る目、人間性を養うことになると判断している。二〇〇二年の就職戦線も決して楽観できるものではない。ともすれば弱気になったり、投げ出したり、フリーターなどを考えがちな現在、厳しければ厳しほど向かっていく精神こそ勝利する秘訣であると確信している。関係各位に心から応援をお願いしたい。

就職指導は二年生から

光陰矢の如し

光陰(こういん) 矢の如しとは、年月が飛んでいく矢のようにまたたく間にたつて元には戻らないという意味です。私は四年生になり卒業間近にして、この言葉を痛感しています。実感しています。私の先輩が言っていた「もっと勉強しておけばよかった」という言葉が今、ようやく解った気がします。



(内定先) 北海道ビジネスオートメーション(株) 社会情報学部社会情報学科四年 杉木隆晃

次に、就職活動についてですが、大切なものは興味・関心・意欲だと思います。自分はこの仕事をしたい、してみたい、その気持ちをいかに人事の人に伝えるかが大切だと思えます。そこで大事に

なっているのが、志望動機と自己PRだと感じました。そして企業研究です。これらのことをしっかりと行い、さらに筆記試験、適性検査、面接試験に慣れるということも大切だと思います。今後、大きな壁にぶつかることもあるかと思いますが、諦めずに頑張ってください。「応援しています！」

内定者からのメッセージ



(内定先) 中道リース(株) 法学部法律学科四年 沢田香織

偏差値に負けなかった私が得たもの「誇り」

四年前の冬、私が手にした二枚の合格通知は札幌学院大学とそれより偏差値の高い某大学のものでした。周りに勧められたのは後者でしたが、「偏差値の良しは後者で大学生活や人間の良し悪しはさまらぬ」と私は札幌学院大学への進路をきめました。初めての一人暮らし、四年間続けたアルバイト。大学から始めた陸上競技で初めて上がった表彰、かけがえのない友情を得たサークル活動とその仲間との紹介で始めたソフトバレーの大会ではじめての優勝。仲間こそが誇りと胸を張るバンドでつくったデモテープ……私の大学生活はどれも充実していたと思えます。後悔

もあつたけど、友達をシカたし、先輩に怒られた時も、周りが見えなくなるといふ好きになつた時もいつも全力を尽くし、そして結果、偏差値に負けなかつた自分を確信しています。私がこの四年間で得たものは「誇り」です。同期、先輩後輩を越えた友情、挫折や失敗から得た教訓等、札幌大生として得た経験のすべてが誇りであり、今春から新社会人として羽ばたく私の強いパートナーです。最後に、四年間お世話になりました皆様へ心より感謝申し上げます。大学生へと巣立った時のような初心に明日への希望を添えて……

学生に好評！過去最高の受講生

エクステンションセンター講座

本学のエクステンションセンターは、平成十年四月学生の就職及び資格取得対策等のための講座を開講し、学生の支援を図ることを目的に設置された。

平成十三年度センターが開講した講座は、十九講座三十三コースで開設以来過去最高の一、五五〇名を超える学生が受講し、大好評を得ている。

講座受講生は、公務員関係(法律職基礎講座含む)講座に約四〇〇名、情報処理関係(パソコン講座含む)に四八〇名、資格・検定関係講座に六七〇名が受講し奮闘している。

公務員試験対策の充実強化に向けた一層の取組みが必要であると考へている。

表計算(エクセル) 2級 80名(70・2%)
表計算(エクセル) 3級 152名(88・9%)
簿記講座 日商簿記 2級 20名(37・0%)
簿記講座 日商簿記 3級 20名(54・1%)

表計算(エクセル) 11名(32・3%)
カラーコーディネーター 3級 11名(30・6%)
2級 13名(43・3%)
ビジネス実務法務検定 3級 37名(56・1%)
初級FP課程 終了認定者 125名

宅地建物取引主任者 5名(13・5%)
国内旅行主任者 34名(61・8%)

画像処理検定3級 3名

好成績を残して終了

平成十三年度コミュニティ・カレッジ

平成十三年度コミュニティ・カレッジは、看板の心理学講座や英会話講座と後期(十月開講)にプログラミングが人気を集め、一般教養講座の受講者総数は前年度比十一%増の六七七名となった。

「道民カレッジ」に参加 コミュニティ・カレッジの一般教養講座は、平成十三年度後期から、道教育庁が主催する「道民カレッジ」の指定講座となった。これにより今後、道民カレッジ会員の受講が増加することが期待される。

新天地で一層の飛躍を 必要がありそうだ。なお、平成十四年度前期講座は例年通り五月上旬の開講を予定しているが、運営委員会では会場が新たに開設する大通キャンパス(二面参照)に移るのを機に、記念講演の開催等を含めて更なる内容の充実を目指している。

平成十四年度入学生の学費決まる

平成十三年十一月五日に開催された学校法人札幌学院大学第一四二回理事会において、平成十四年度入学生の学費が決定されました。その内容は、社会情報学部新入生の学費を前年度入学生よりも四年間総額で二十万円引き下げ、他学部は据え置きとするものです。

平成十四年度入学生の学費については、据え置きとし、また必要とする総学費を入学手続時までに明示する。

平成十四年度入学生の学費についての方針に基づき検討した結果、本学と札幌圏私立大学の四年間の学費の平均値との差額を比較(予測)した時、本学の方が十六万円程低くなっております。しかし、景気の停滞が続く昨今の経済情勢及び本学をとりまく様々な情勢から、学費を値上げするのには困難な状況にありま

す。このような理由から、社会情報学部を除く大学院及び学部の平成十四年度入学生の学費については、

費については、据え置きとしました。社会情報学部の学費は、教育研究にかかる経費を多く要することから、他学部よりもやや高めに設定していますが、学部設立以来十年の経緯を踏まえ、教育内容の維持・充実、文科系の情報系学部との競合関係などを総合的に考慮し、学費の引き下げを判断しました。

なお、本学の学費制度は入学時に四年間の総額を明示する方式をとっており、学費の値上げ及び引き下げについては、在学生に適用しないことになっております。

平成十四年度入学生の学費表 (単位千円)

(1) 大学院法学研究科・臨床心理学研究科

| | | | |
|-----|--------|--------|--------|
| | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
| 入学金 | 200 | - | - |
| 授業料 | 834 | 874 | 902 |

(2) 商学部第一部・人文学部・法学部・経済学部

| | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 |
| 入学金 | 200 | - | - | - |
| 授業料 | 834 | 874 | 902 | 922 |

(3) 社会情報学部

| | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 |
| 入学金 | 200 | - | - | - |
| 授業料 | 967 | 1,023 | 1,060 | 1,070 |

(4) 商学部第二部

| | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 |
| 入学金 | 100 | - | - | - |
| 授業料 | 469 | 489 | 503 | 513 |

※学年によらない年度毎の授業料である。
※表にない年度以降の授業料は、社会情報学部ならびに商学部第二部は毎年度1万円、それ以外は毎年度2万円ずつの値上げとなる。

体育系クラブ・文化会 主な活動の軌跡

大会活動結果 (2001年1月～12月)

【体育会】

●体育系特別クラブ：馬術 (大城 梢)

- 第36回道春季大会 (6月)
 - 一般馬場馬術第2課目1位 同第3課目2位
 - アジア大会記念団体課目2位
- 第26回北海道馬術大会 (7月)
 - 一般馬場馬術第2課目1位 第3課目1位・2位
 - アジア大会記念団体課目2位
- 第56回国民体育大会北海道ブロック大会 (8月)
 - 成年馬場馬術第2課目1位 第3課目1位
 - アジア大会記念団体課目3位
- 第15回道秋季馬術大会 (9月)
 - 一般馬術第2課目1位 同第3課目1位、2位
 - アジア大会記念団体課目1位、2位
- 第56回国民体育大会 (10月) 選抜出場

●体育系特別クラブ：リュージュ (戸城 正貴)

- 第3回アジアカップ選手権 (2000.12月) 8位
- 第34回全日本選手権 (2000.12月) 6位

●アメリカンフットボール部

- 北海道秋季リーグ (8月)
 - 1勝4敗・入替え戦 (2部残留)

●応援指導部

- 全日本選抜チア選手権 (5月)
 - 規定28位/59チーム 予選 7位/45チーム 総合19位/59チーム
- 第12回北海道チアリーディング大会 (7月)
 - 自由演技：優勝 規定演技：2位
- チアリーディング日本選手権 (8月)
 - 自由演技16位 規定演技30位 総合17位/各57チーム
- 道チアフェスティバル (11月)
 - 自由演技 1位 規定演技 2位 DIVISION1・2 1位
- 全日本学生チアリーディング選手権 (12月)
 - 16位/61チーム

●硬式野球部

- 春季リーグ戦 (5月)
 - 1部リーグ4位 (4勝6敗)
- 秋季リーグ戦 (9月)
 - 1部リーグ3位 (6勝4敗)
 - 最優秀選手賞 高橋 賢匡 (4年)
 - ベストナイン捕手 小保内貴彦 (4年) 外野 高橋 健太 (3年)
 - 一塁 高橋 賢匡 (4年) 外野 村形 厳征 (2年)

●サッカー部

- 第25回総理大臣杯大会 (6月)
 - 決勝進出 (本学0対2札幌大)
- 第20回学生サッカーリーグ
 - 第1節 本学2対0札幌大 第3節 本学1対2函館大
 - 第2節 本学1対5道都大 第4節 本学2対0岩教大
 - 1部サッカーリーグ戦 4位

●バスケットボール部

- 第51回北海道学生バスケットボール春季大会 (6月)
 - 準々決勝進出

●陸上競技部

- 第53回北海道学生陸上選手権 (6月)
 - 〈男子〉
 - 100m 2位 泉 伸平 (1年)
 - 200m 2位 大前 直樹 (4年) 3位 中村 信也 (4年)
 - 400m 2位 根府 学 (1年)
 - 3000m 2位 石川 真 (2年)
 - 5000m 3位 大日向 淳 (1年)
 - 4×100mR 2位 大前・泉・中村・佐間
 - 走高跳 2位 渡辺 晋平 (4年)
 - 棒高跳 1位 石田 勝 (3年) ※1 3位 成澤 和也 (4年)
 - ハム投げ 2位 土屋 宏太 (2年) 3位 田上 竜也 (3年)
 - 十種競技 1位 谷本 幸治 (3年) ※1
 - 〈女子〉
 - 1500m 1位 絹川 知佳 (1年) ※1
 - 5000m 3位 渡邊 梨香 (2年)
 - やり投げ 3位 池田由起子 (1年)
- 第74回北海道陸上選手権 (8月)
 - 〈男子〉
 - 4×400mR 1位 塚見・根府・中村・船越※2
 - (※1) 第70回日本学生陸上選手権 (9月) 出場者
 - (※2) 第85回日本陸上選手権 (10月) 出場者
 - 北海道大学駅伝対校選手権 (9月)
 - 男子優勝、女子優勝
 - 全日本大学駅伝対校選手権 (11月)
 - 男女出場
- カヌー部
 - 機春別川カップin三笠 (6月)
 - K-1ショートプレミアムクラス3位 庄司 幸由 (3年)
 - K-1UWクラス2位 堀川 亮太 (3年)
 - 道カヌー選手権 (6月)
 - 男子K-1ワイルドウォーター1位 本間 悠 (2年)
 - 2位 細野 雄也 (4年)
 - 女子K-1ワイルドウォーター1位 間島ゆかり (1年)
 - 男子K-1スラローム2位 渡辺 勇人 (2年)

●弓道部

- 第54回北海道大会 (5月)
 - 〈男子〉 団体準優勝、3位 個人優勝 佐々木智史 (3年)
- 第48回全道学生弓道選手権 (6月)
 - 〈男子〉 団体優勝
 - 〈女子〉 個人準優勝 平田まどか (1年)
- 道中央地区弓道大会 (7月)
 - 〈男子〉 団体優勝
 - 個人優勝 尾崎 孝直 (3年) 準優勝 小笠原大樹 (3年)
- 中央地区弓道選手権 (8月)
 - 〈男子〉 個人優勝 岩城皇土朗 (3年) 3位 尾崎 孝直 (3年)
 - 〈女子〉 個人優勝 西垣 江里 (4年)
 - 準優勝 前田 洋子 (3年) 3位 平田まどか (1年)
- 第47回全道学生弓道争覇戦 (10月)
 - 〈女子〉 団体3位 (3勝2敗) 個人2位 平田まどか (1年)
- 第47回全道学生争覇戦 (10月)
 - 〈男子〉 団体2位 (4勝1敗) 個人3位 尾崎 孝直 (3年)

●極真会空手道部

- 第18回全日本ウエイト制大会 (7月)
 - 1回戦 阿部 哲也 (本学) 0対5横山 剛
- 第18回ウエイト制学生選手権 (11月)
 - 個人優勝 阿部 哲也 (1年) 2位 高橋 一彰 (3年)

●剣道部

- 第49回北海道学生剣道選手権 (9月)
 - 1回戦〈本学〉0対5〈北海学園北見〉
- 京都学園大学剣道部との交流稽古 (8月)

●柔道部

- 道学生柔道大会 (9月)
 - 100kg級 清水雄一郎 (2年) ベスト8
 - 66kg級 菱沼 健一 (2年) ベスト8
 - 100kg超級 糸屋 有人 (2年) ベスト16

●少林寺拳法部

- 第32回少林寺拳法北海道学生大会 (7月)
 - 単独演武 見習の部・男子最優秀賞 水上 広章 (1年)
 - 同優秀賞 堀田 高吾 (1年)
 - 級上士部・男子最優秀賞 種澤 豊 (2年)
 - 同優秀賞 加賀 充 (2年)
 - 有段の部・女子 優良賞 森 彩子 (3年)
 - 有段の部・男子 優良賞 牧 祐紀 (4年)
 - 見習の部・男子 優良賞 堀田・新山組
 - 二・三段部・男子 優秀賞 鈴木・牧組
 - 団体演武 最優秀賞、優秀賞
 - 総合 2位
- 第22回少林寺拳法北海道大会 (7月)
 - 単独演武 初・二段の部・男子優秀賞 小田 哲生 (1年)
 - 組演武 段外の部・男子 最優秀賞 加賀・種澤組
 - 初・二段の部・女子優秀賞 辻野・森組
 - 三段以上部・男子敢闘賞 鈴木・牧組
- 第15回江別少林寺拳法大会 (9月)
 - 単独演武 段外の部 最優秀賞 種澤 豊 (2年)
 - 優秀賞 岩城由貴子 (3年)
 - 有段の部 優秀賞 辻野 光華 (3年)
 - 優良賞 伊藤 雅章 (3年)
 - 組演武 三級の部 優秀賞 水上組
 - 優良賞 新山・堀田組
 - 一級の部 優秀賞 岡崎・大野組
 - 有段の部 最優秀賞 伊藤・小畑組
 - 有段の部 最優秀賞 辻野・森組
- 第30回道学生新人大会 (11月)
 - 団体演武 優良賞
 - 組演武 二段以上 優良賞 初段1・2級 優秀賞
 - 単独演武 有段の部 優良賞 須之内雅樹 (2年)
- 第35回全日本学生大会 (11月)
 - 組演武 段外の部 決勝進出 岡崎・大野組

●自転車部

- 第57回国民体育大会道予選 (6月)
 - 1000mタイムトライアル2位 木賊 弘明 (4年)
 - ポイントレース、ケイリン3位 永平 順一 (2年)
- 第36回道選手権 (7月)
 - ケイリン優勝 木賊 弘明 (4年)
 - ポイントレース優勝 永平 順一 (2年)
- 第57回全日本大学対抗選手権 (9月)
 - 団体戦 オリンピック・スプリント4位
- 第56回国民体育大会選抜出場 (10月) 木賊 弘明 (4年)
- 第15回ツール・ド・北海道国際大会 (9月) 永平 順一 (2年)

●準硬式野球部

- 道準硬式野球2部リーグ戦 (6月) 5位 (2勝3敗)

●水泳同好会

- 十大学合同記録会 (10月)
 - 男子200m自由形 2位 澤田 洋志 (2年)
 - 女子100m背泳ぎ 優勝 小林 千裕 (1年)
- 第6回道学生水泳記録会 (12月)
 - 女子50m自由形3位 安田 佑子 (1年)

●スキー部

- 全日本学生スキー大会 (1月)
 - 〈男子〉 総合7位/35校 (男子4部制中3部)
 - 回転 3位 鈴木 忍 (4年) 30位 北島 浩志 (2年)
 - 8位 猪野 淳 (4年)
 - 大回転 3位 鈴木 忍 (4年) 11位 猪野 淳 (4年)
 - 9位 松田 真悟 (2年)
 - 〈女子〉 総合14位/130校 (女子3部制中3部)
 - 大回転 11位 依田 和美 (4年)
- 全日本学生アルペンチャンピオン大会 (3月)
 - 〈男子〉 回転 13位 鈴木 忍 (4年) 29位 猪野 淳 (4年)
 - 17位 北島 浩志 (2年)
 - 大回転 (第1戦)
 - 6位 松田 真悟 (2年) 17位 猪野 淳 (4年)
 - 大回転 (第2戦)
 - 3位 鈴木 忍 (4年) 13位 北島 浩志 (2年)
 - 大回転 (第3戦)
 - 11位 松田 真悟 (2年) 13位 猪野 淳 (4年)
 - 大回転 (第4戦)
 - 3位 鈴木 忍 (4年)
 - 〈女子〉 回転 20位 依田 和美 (4年)
 - 大回転 (第1戦)
 - 23位 依田 和美 (4年)
 - 大回転 (第2戦)
 - 21位 依田 和美 (4年)
- 第56回国民体育大会予選 (1月)
 - 〈女子〉 大回転2位 依田 和美 (4年)
- 第37回北海道学生スキー連盟駅伝大会 (7月)
 - 7位/15団体

●ソフトテニス部

- ヨネックスカップ国際大会 (4月)
 - 選抜選手：高橋・和田・綱測・王野
- 第53回春季全道選手権 (5月)
 - 団体 優勝 (5勝全勝)
 - 個人 優勝 高橋・綱測組 3位 千葉・樋口組、高田・神組
 - 2位 王野・和田組
- 第33回全道選手権 (6月)
 - 団体 優勝 (Aチーム)、3位 (Bチーム)
 - 個人 優勝 高橋・綱測組 3位 高田・神組
- 全日本王座決定戦 (6月)
 - 団体 予選リーグ2位 (2勝1敗)
- 全日本学生選手権 (8月)
 - 団体 ベスト16
 - 個人 向井宏佑基 (ベスト16)
- 秋季全道学生選手権 (8月)
 - 団体 優勝 (5戦全勝)
 - 個人 優勝 高橋・綱測組 2位 王野・和田組
- 第24回全道学生新人大会 (9月)
 - 団体 優勝 (Aチーム)、ベスト8 (Bチーム)
 - 個人 優勝 王野・綱測組 3位 高田・神組
- 天皇杯全日本総合選手権 (9月)
 - 選抜選手：高橋・和田・綱測・王野

- 第42回全道学生インドア選手権 (11月)
 - 個人 優勝 高橋・綱測組 2位 王野・和田組
- 全道学生インドア大会 (12月)
 - 優勝 高橋・綱測組 3位 田頭・山本組
 - 2位 王野・和田組

●卓球部

- 春季全道学生選手権 (5月) 男子 二部リーグ残留

●男子硬式庭球部

- 道学生テニストーナメント (4月)
 - S 5位 松永 剛 (1年)
 - W ベスト8 上島・松永組
- 第33回道テニスリーグ (6月)
 - 1部リーグ4位 (1部残留)
- 道学生テニス選手権 (8月)
 - S ベスト8 松永 剛 (1年)
- 全日本学生テニス選抜 (8月)
 - 松永 剛 (1年) 出場

●女子硬式庭球部

- 道学生テニス王座決定戦 (6月) 準優勝
- 道学生テニス夏大会 (8月) 予選決勝出場
- 道学生テニス新人戦 (9月) 予選決勝出場

●軟式野球部

- 第8回春季リーグ兼全日本選手権道予選 (6月)
 - 優勝 (4勝1敗)
 - ※最優秀殊勲賞：佐藤 実 (2年) 敢闘賞：山本 怜平 (3年)
 - ベストナイン投手：伊藤 修 (4年)
- 第24回全日本軟式野球選手権 (8月)
 - 1回戦〈本学〉0対1〈仏教大学〉
- 第8回秋季リーグ戦 (10月) 3位 (2勝3敗)
 - ベストナイン 西股 俊 (3年) 佐藤 実 (2年)

●日本拳法部

- 全日本日本拳法団体選手権 (5月)
 - 1回戦〈本学〉0対5〈静岡拳合会〉
- 第6回道選手権 (5月) 4位
- 日本拳法全道選手権 (9月)
 - 有級の部優勝 矢野 慶史 (2年) 準優勝 斉藤 陽 (3年)
 - 形の部・男子優勝 佐々木良輔 (3年)
 - 女子優勝 金子 由香 (4年) 3位 佐藤 真澄 (2年)
- 全日本拳法選手権 (11月)
 - 形の部・女子3位 金子 由香 (4年)
- 全道体重別選手権 (11月)
 - 軽量級 優勝 横山 真一 (3年) 3位 斉藤 陽 (3年)
 - 2位 佐々木良輔 (3年)
 - 中量級 3位 葛西 誠 (3年)
 - 重量級 3位 山内 裕規 (2年)

●バレーボール部

- 全道男子3部春季リーグ戦 (5月) 3位
- 全道女子春季リーグ戦 (5月) 2位 (3勝1敗)
- 大滝杯道男女リーグ戦 (5月) 2勝2敗
- 第28回原崎杯道秋季大会 (10月) 3部2位 (2勝2敗)

●パワーリフティング

- 第48回道学生春季選手権 (5月)
 - (90kg級) 池田 友和 (4年) 1位
 - (100kg級) 阿部 享済 (4年) 2位
- 第49回道学生秋季選手権 (12月)
 - (60kg級) 千葉 欽之 (4年) 3位
 - (67.5kg級) 河村 友洋 (4年) 2位
 - (75kg級) 長谷川悦凡 (4年) 1位 池田 友和 (4年) 2位
- 最優秀選手賞 長谷川悦凡

●ハンドボール部

- 北海道学生春季2部リーグ戦 (5月) 5位 (1勝4敗)
- 北海道学生秋季2部リーグ戦 (10月) 5位 (1勝4敗)

●洋弓部

- 北海道学生アーチェリー王座決定戦 (4月) 2位
- 〈男子個人〉 山田 祐哉 (3年) 4位
- 〈女子個人〉 中村 早紀 (2年) 1位
- 全日本学生アーチェリー東日本選抜大会 (5月)
 - 中村 早紀 (2年) 2位
- 第4回韓国大学洋弓選手権 (7月)
 - 中村 早紀 (2年) 35位 ※国際大会派遣選手

●ラグビー部

- 第31回道ラグビーフットボール選手権 (7月)
 - 1回戦〈本学〉24対10〈旭川ラガー〉
 - 2回戦〈本学〉5対12〈帯広畜産〉
- 第31回道地区選手権 (9月) 2勝2敗

●陸上ホッケー部

- 第20回全日本大学王座決定戦道予選 (5月) 1位
 - 全国大会出場へ
- 会長杯ホッケー大会 (6月) 優勝
- 第36回道ホッケー選手権 (7月) 優勝
- 第26回全日本学生ホッケー選手権道予選 (9月) 2位
 - 全国大会 (11月) 出場

●ワンダーフォーゲル部

- 赤岩ロッククライミング (5月) 全日登頂成功
- 恵庭岳登頂、大雪山お鉢一周 (6月)
- 定山溪天狗山登頂 (7月)
- オロフレ山登頂 (9月)
- 宗谷岬リレーラン (10月)
- 春香山往復登山 (11月)

●合気道同好会

- 第13回道総武道大会 (6月)
 - 捕技乱取2位 山下 雄司 (3年)
 - 総合乱取3位 山下 雄司 (3年)
- 学生合気道選手権 (7月)
 - 2回戦進出 山下 雄司 (3年)
- 道学生合気道新人戦 (9月)
 - 打込女子 準優勝 日下部尚美 (1年) 3位 吉崎 春恵 (1年)
 - 捕技乱取 3位 七田さや佳 (1年)
- 第38回全日本選手権
 - 総合乱取 2回戦出場 山下 雄司

●トリアスロン同好会

- 第1回札幌トリアスロン大会 (6月)
 - 2位 額田 陽一 (1年)
- 第8回デュアスロン駅伝全道大会 (7月)
 - 総合14位/ (約90チーム)
- 第15回日本海オロロンライン国際大会 (8月)
 - 江口 靖明 (4年) 36位/381人

- 空手同好会
 - 第1回全道選抜選手権 (5月)
 - 大学一般男子・組手の部
 - 岩田 拓 (3年) 1位、東城 裕介 (3年) 2位
 - 大学一般男子形の部
 - 大竹 裕一 (3年) 1位
 - 大学一般女子組手の部
 - 鬼島 美咲 (2年) 1位、中西 愛美 (2年) 2位
 - 大学一般女子形の部
 - 三浦 郁美 (1年) 1位
 - 第56回国民体育大会札幌地区予選 (6月)
 - 男子組手・重量級2位 中村 優太 (1年) 3位 岩田 拓 (4年)
 - 女子・形1位 三浦 郁美 (1年)
 - 第45回全日本学生空手道選手権 (7月)
 - 2回戦進出 三浦 郁美 (1年)
 - 第2回松涛会空手全国大会 (8月)
 - 個人男子 岩田 拓 (3年) 32位/120名
 - 女子 三浦 郁美 (1年) 3位 (世界大会出場)
 - 団体女子 ベスト8
 - 第1回松涛会世界空手大会 (9月)
 - 個人女子・形3位 三浦 郁美 (1年)
 - 第56回国民体育大会北海道予選 (9月)
 - 成年男子組手個人戦重量級3位 中村 優太 (1年)
 - 第34回道学生空手道選手権 (9月)
 - 団体 準優勝 (全国大会出場)

- ラクロス同好会
 - 春季トーナメント (6月) 出場
 - 秋季1部リーグ戦 (8~10月) 5位 (1勝4敗)
 - 入替戦1部残留 (本学) 17vs5 (岩見沢科大)
 - 第3回全日本ユース選手権 (12月) 5位/7校中
- 文化会
 - 児童サークルどろんこの会
 - 第23回サマーフェスティバル (6月) 主催
 - 江別子供まつり (7月) 参加
 - クリスマス会 (12月) 主催
 - 美術部
 - 私大合同展 (アーツスペース) (5月)
 - 写真部
 - 写真展 (大学生協) (5月)
 - 写真展 (サッポロファクトリー・レンガ館3F店舗) (6月)
 - 吹奏楽団
 - 第19回大学バンドフェスティバル (6月)
 - 第46回吹奏楽コンクール札幌地区大会 (8月) 金賞
 - 新札幌パワロ病院演奏会 (9月)
 - 江別市立大森西小学校演奏会 (9月)
 - 第2回プロムナードコンサート (9月)

- 北星学園大学吹奏楽団との交流演奏会 (10月)
- 定期演奏会 (12月)
- フォーク村
 - 新入生歓迎演奏会 (4月)
 - 学内演奏会 (5月・6月・7月・9月・11月)
 - 浅井学園大学合同演奏会 (7月)
- 軽音楽部
 - 新入生歓迎演奏会 (4月)
 - 学内演奏会 (5月・6月・7月・11月・12月)
- 劇団サンズサン
 - 新入生歓迎公演 (4月)
 - 学内公演 (『きのうのうたをきかせて』) (6月)
 - 学内公演 (9月)
 - 学内公演 (『child's KARUMA』) (12月)
- 映画研究会
 - 学内上映会 (5月、12月)
- 音楽研究会
 - 学内フィルムコンサート (6月)
- 放送研究会
 - 学内公開放送 (6月)

冬季五輪に卒業生が出場
ソルトレーク冬季五輪の女子カーリング競技に小野寺 歩さん(人文・H13卒)が日本代表チーム「シムソンス」の主要メンバーとして出場を果たした。

鉄道研究会

今年で創部十周年を迎える鉄道研究会は、現在九名で活動しております。活動の内容は特に制約を設けず、「鉄道」と関連することなら何でも受け入れているので、部員は各自の趣向による自由なテーマで会報製作や取材旅行などを行っています。

会報「待合室」は年三回の発行で、紀行文や研究記事などを掲載し、専門の記事よりも実地での体験取材を重視した分かりやすい内容が、学内外から好評を得ています。最近では旅行記の掲載が多くなりましたが、アイヌ語を起源

を残し、組手競技だけではなく型競技においても素晴らしい成果を残すことを嬉しく思っています。どの大会に出場しても札幌学院大学の知名度は上がっていると思います。今年は一週間という長期の充実した合宿を行いました。何も空手を知らずに入部しこの合宿で頑張った部員は力をつけ、今では先輩を脅かす存在になったのは言うまでもありません。現在空手人口は女性が増加しつつも、男性は増えてはおりません。是非、空手同好会に入部して、一緒に頑張ってくださいと思います。素人でも構いません。経験者で努力しない人間よりも、一生懸命努力する素人の方が我々は入部して欲しいと考えています。大学生にもなると部活をしたがらない学生が増えています。部活をしてい

とする駅名の由来や、炭坑と石炭の輸送を担った鉄道についてなど、北海道の鉄道サークルらしいテーマ記事も掲載しています。

部外での活動も積極的に進め、昨年は春に、廃止となつてしまつた鉄道の路線跡(約二十キロ)を五名がトレッキング、全員が完歩を成し遂げました。また夏には東北地方で無人駅キャンプを行い、三十人以上の純列車を乗り継いで五つの無人駅にテントを張るなど、体力勝負の活動を盛んに行いました。さらには各部員の趣向や体

力に合わせ、各駅停車の旅や自動車による鉄道・炭坑の遺構探検、その他野外焼肉ツアーや食事会など、ソフとな企画も随時行つて、部員間の親睦を図るまにしています。

今期は多数の旅企画を行うなど活発に活動し、充実した一年を送ることが出来たと考えています。しかし会報製作に積極的に携わる部員が少なかつたため、会報の質を上げるまでには至らなかつたかも

でも自分の努力だけで遊び、多々あります。また同好会で勉強、アルバイトに時間を充分に取ることは可能であるといふことを考えています。先輩から就職や学業についてもアドバイスを得ることが出来ます。先輩、後輩と一緒に遊ぶ事も



空手世界大会で三浦郁美(商1年)が3位入賞(右端)



旧大夕張鉄道跡を歩く

空手同好会

平成十四年度行事等予定

- 4月
 - 1日(月) 在学生ガイダンス
 - 2日(火) 在学生ガイダンス
 - 3日(水) 入学式
 - 4日(木) 新入生ガイダンス
 - 5日(金) 新入生ガイダンス
 - 6日(土) 新入生合宿オリエンテーション
 - 8日(月) 前期授業開始
 - 9日(火) 新入生・II部健康診断
 - 17日(水) 履修登録日
- 5月
 - 4日(土) 開学記念日
 - 11日(土) 7月13日(土) 土曜公開講座(天麻公民館)
 - 前期コミュニケーション・カレッジ開講
- 6月
 - 15日(土) 学園創立記念日
- 7月
 - 上旬 講演と音楽の夕べ(青森)
- 8月
 - 24日(水) 31日(水) 前期定期試験
 - 31日(水) オープンキャンパス
- 9月
 - 20日(火) 23日(金) 追試験期間
 - 26日(月) 9月7日(土) 集中講義期間
 - 17日(火) 後期授業開始
 - 26日(木) 前期末学位記授与式
 - 28日(土) 編入学試験
- 10月
 - 4日(金) 講演と音楽の夕べ(帯広)
 - 5日(土) オープンキャンパス
 - 大学院入試
 - (臨床心理学研究科)6日(日)
 - 12日(土) 14日(月) 祝 第32回大学祭
 - 19日(土) 父母懇談会(若狭校)
- 11月
 - 7日(木) 第26回学術講演会(札幌市民会館)
 - 27日(水) 28日(木) 推薦入試
- 12月
 - 16日(月) 21日(火) 後期補講期間
 - 18日(水) 19日(木) 大学入試センター試験
 - 22日(水) 29日(水) 後期定期試験
 - 3日(月) 5日(水) 追試験期間
- 1月
 - 26日(土) 父母懇談会(本学) 大学院入試
 - 7日(金) 8日(土) 一般人試
- 2月
 - 26日(土) 大学院入試
 - 7日(金) 8日(土) 一般人試
- 3月
 - 3日(月) 卒業・進級発表
 - 15日(土) 学位記授与式
 - 卒業祝賀会

是非この機会に、札幌学院大学を『見て・聞いて・体験』して下さい。

オープンキャンパス

7月31日(水) 11:00~16:00

10月5日(土) 11:00~16:00

会場 札幌学院大学 50年記念館SGUホールほか

内容 ミニ講義、個別相談会(入試・就職・資格など)、キャンパスツアー、クラブ見学、無料学食体験ほか

申し込み 自由参加のため事前の申し込みは必要ありません。

※参加者には、大学案内・入試資料のほか、過去問題集やSGUオリジナルグッズをさしあげます。

平成十四年度入学式

日時 平成十四年四月三日(水) 午後一時

会場 北海道厚生年金会館

*大学生および父母の皆様は三十分前に会場へお越しください。

卒業祝賀会

日時 学位記授与式当日 午後四時~午後五時三十分

場所 京王プラザホテル札幌(札幌市中央区北五条西七丁目)

会費 卒業生二千円 同窓生・父母・教職員三千円

平成十三年学位記授与式

日時 平成十四年三月十六日(土) 午後一時

会場 北海道厚生年金会館(札幌市中央区北一条西十二丁目)

*大学院修了生、学部卒業生および父母の皆様は三十分前に会場へお越しください。

教職員人事

◎昇格
平成十三年九月一日付
阿部 清昭 (エクステンションセンター 事務室)

◎異動
平成十三年十月九日付
企画調査室長兼企画調査課長 夏井 正史 (企画調査課長)

財務部長 渡辺 利夫 (企画調査室長)

財務部財務課長 荒 憲一 (学生部就職課長)

◎退職
平成十三年十月三十一日
橋本 幸卓 (エクステンションセンター 事務室)

◎昇格
平成十三年九月一日付
理事長付参事 企画調査課 阿部 清昭 (エクステンションセンター 事務室)

教授 由喜門 眞治 (エクステンションセンター 事務室付参事)

助教 中澤 秀雄 (エクステンションセンター 事務室)

◎異動
平成十三年十月九日付
企画調査室長兼企画調査課長 夏井 正史 (企画調査課長)

財務部長 渡辺 利夫 (企画調査室長)

財務部財務課長 荒 憲一 (学生部就職課長)

◎退職
平成十三年十月三十一日
橋本 幸卓 (エクステンションセンター 事務室)